

RCNP 研究会報告

研究会名: The 10th International Conference on Direct Reactions with Exotic Beams (DREB2018)
日時: 平成 30 年 6 月 4 日–8 日
開催場所: くにびきメッセ (島根県松江市)
参加者数: 128 名 (うち外国人 84 名)
Web ページ: <https://indico2.riken.jp/event/2536/>
世話人: 緒方 一介 (RCNP: Chair), 中村隆司 (東工大: Chair), 青井考 (RCNP), 小林信之 (RCNP), 近藤洋介 (東工大), 上坂友洋 (理研仁科センター), 笹野匡紀 (理研仁科センター), 下浦享 (CNS), 今井伸明 (CNS), Kathrin Wimmer (東大), 武智麻耶 (新潟大) 松本琢磨 (九大), 須原唯広 (松江高専), 堀内渉 (北大)

内容および成果:

本国際会議は不安定核の直接反応を実験・理論の両面から議論するものであり、約 2 年に 1 回開催されている。10 回目を迎える 2018 年の会合を、大阪大学核物理研究センターと東京工業大学理学研究科との共催 (共同主催) として、2018 年 6 月 4–8 日、島根県松江市のくにびきメッセにおいて開催した。会議のトピックには

- Spectroscopy of exotic nuclei, such as drip-line and unbound nuclei
- Shell structure and its evolution
- Bulk properties and collective excitations
- Nuclear astrophysics
- Nuclear force
- Advances in direct reaction theory
- New instrumentation for direct reaction studies

の 7 つを選んだ。

参加者数は約 130 名で、外国人の参加者はその約 2/3 に上った。これまでの会の伝統にならい、若手の発表、特に未出版の結果の発表に重きを置いたことによって、前線に立つ研究者たちが不安定核物理の最新の動向を議論する、非常に活発で実り多き会合となった。大阪大学核物理研究センターは、主催機関の 1 つとして、十全にその存在感を示すことができたと考えている。

研究会全体の予算は 6,625,830 円で、うち 295,830 円を核物理研究センターから支出いただき、学生滞在費補助 (5 名分: 計 280,000 円) とポスター作成費 (15,830 円) に充てた。ここに深く御礼申し上げたい。あわせて、予算総額のおよそ 7 割に上る手厚い補助金を頂戴した島根県と松江市、開催の実務をきめ細かくサポートくださった松江コンベンションビューロの方々、研究会秘書を派遣いただいた理研仁科センターおよび大阪大学核物理研究センター、また、学生ポスター賞をサポートしていただいた ANPhA に心から感謝したい。

